



探究意見交換会

7月8日 2年生—鉾田一高附属中
7月13日 3年生—太田一高附属中



令和2年度に開校した5校は、「探究意見交換会」と称し、各学校の探究活動の成果をオンラインで発表し合っています。

各学校の代表が、探究してきたことを発表し、質問や意見を述べたり、スプレッドシートに感想を記入したりします。

普段、校内でのやりとりでは出ない質問や意見を聞きながら、自分の学習を振り返ったり、新たな視点を得たりしています。

13日に行われた3年生の太田一高附属中との意見交換会は、龍ヶ崎市の萩原勇市長が参観され、龍ヶ崎市をテーマにした探究活動を、興味深そうにご覧になっていました。

2年生の意見交換会では、鉾田一高附属中生からの発表に竜一生から次々と質問が出て、「探究」の名にふさわしい、活動ができました。

今回は、3年生は鹿島高校附属中学校、2年生は下館一高附属中学校との意見交換会です。

それぞれ、充実したものになることを期待しています。

IBARAKIドリーム・パス校内審査会

竜一附属中では、探究を軸とした教育活動を行っています。その中でも特に、地域課題解決に力を入れ、中学1，2年生は龍ヶ崎市や商店街の活性化を目指して活動しています。

その一貫として、IBARAKIドリーム・パスに自分たちの企画を応募します。こちらは、高校生を主としたコンクールですが、昨年度も応募して1次審査を突破した実績もあります。今年度も1，2年生が応募に向け、7月7日にグループの企画についてプレゼンをし、校内審査を行いました。

今年は、生徒相互の評価に加え、校長、教頭、ここまで課題解決についてご指導くださったベンチャー企業の皆さんにも審査に加わっていただき、学校代表を決定しました。

見事学校代表に選ばれた6グループが9月の1次審査に応募します。

<https://www.edu.pref.ibaraki.jp/board/syogai/syogai/dreampass/r4shiryuu/01chirashi.pdf>



撞舞をご存じですか？

国選択・県指定無形民俗文化財である龍ヶ崎の「撞舞」。新型コロナウイルスの影響で2年続けて中止となっていましたが、今年は、7月24日（日）に開催されました。

地域課題解決の一翼を担う竜一生がこの撞舞を放っておく訳がなく、SNSを通じて多くの皆様に知っていただこうと動き出しました。

撞舞保存会の方々からお話をうかがったり、練習を見学したりしたことをツイッターやInstagramでの情報発信することからスタートし、商店街などに撞舞に関するポスターを貼らせていただいたり、チラシを配布したりしました。当日は、YouTubeで生配信したり、来場者にインタビューしたりと、取材活動を行いました。

龍ヶ崎市の大切な文化である撞舞を絶やすことなく伝えていけるよう、今後も配信していきます。ご興味のある方は、ぜひフォローをお願いいたします。



ツイッター
@ryugasaki_Ta
nQ



インスタグラム
@ryugasaki_ta
nq



小学校の先生方へ

7月5日（火）～7月7日（木）の授業参観、7日の学校説明会においでいただきありがとうございました。本校の教育の一端をご覧いただきましたが、いかがでしたでしょうか。今後、小学校と連携していけることがあれば、ぜひお願いできればと思います。

また、7月18日（月）の学校説明会、30日（土）の学校見学会につきまして、児童、保護者にご案内いただきありがとうございました。おかげさまで、多くの方にご参加いただくことができました。18日に配布いたしました学校案内を、近々小学校にもお届けいたします。

さて、夏季休業に入り、1年生による母校訪問が始まります。面談や出張等で多用とは存じますが、この4か月で少し成長した姿をご覧いただくとともに、中学校生活についての生徒の話をお聞きください。よろしく願いいたします。

お問い合わせ・ご連絡

龍ヶ崎第一高等学校附属中学校 0297-62-2146（教頭 内川）